

- 1 図書室で、みちるは借りたかった本が最後の一さつだと気づいた。手をのばしたそのとき、となりの下級生も同じ本に手をのばした。みちるは少し考えて、「どうぞ」とその本をゆずった。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、みちるの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① あせり
- ② いらだち
- ③ おどろき
- ④ 思いやり

こたえ

- 2 遠足の朝、空は黒い雲におおわれていた。ゆうきは「中止かもしれない」と、かばんを何度も見た。ところが出発のころには雲が切れ、青空が広がった。ゆうきは大きく手をふって歩き出した。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

ゆうきの気持ちは、はじめと おわりで どう 変わりましたか。

- ① 心配 → がっかり
- ② 心配 → 安心
- ③ がっかり → 安心
- ④ 期待 → がっかり

こたえ

- 3 わたしは妹のケーキを、つい先に食べてしまった。妹が「わたしの、ないの？」と言ったとき、わたしは何も言えず、下を向いた。あやまろうとしても、なかなか言葉が出てこなかった。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① 気まずさ
- ② 安心
- ③ いらだち
- ④ 満足

こたえ

- 1 一週間かけて作った工作が、地区の展覧会に選ばれた。父さんが「よくがんばったな」と言うと、たけしは顔を上げて、ぐっと胸をはった。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、たけしの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① おどろき
- ② てれくささ
- ③ ほこらしさ
- ④ 不満

こたえ

- 2 はじめての委員会。りなは何を話せばいいかわからず、下を向いていた。だが上級生が「となりに座っていいよ」と笑いかけてくれた。りなは肩の力がぬけ、そっと顔を上げた。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

りなの気持ちは、はじめと おわりで どう 変わりましたか。

- ① 期待 → 安心
- ② きんちょう → 安心
- ③ 期待 → きんちょう
- ④ 不安 → がっかり

こたえ

- 3 転校していく友だちが、さよならの手紙をくれた。文字が、ところどころにじんでいて、それを見て、まおは自分の胸がぎゅっとなり、何度も手紙を読み返した。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、まおの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① せつなさ
- ② うれしさ
- ③ もどかしさ
- ④ くやしさ

こたえ

- 1 試合の最後、ぼくのパスがずれて、大切なチャンスをのがした。ロッカーで、ぼくはユニフォームをにぎったまま、しばらく動けなかった。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、ぼくの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① さびしさ
- ② つかれ
- ③ くやしさ
- ④ 安心

こたえ

- 2 みんなの前で先生が「この作文はすばらしい」と、わたしの名前を読み上げた。うれしいのに、なぜか顔が赤くなって、下を向いてしまった。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① おどろき
- ② ほこらしさ
- ③ 気まずさ
- ④ てれくささ

こたえ

- 3 楽しみにしていた新しいゲーム。箱を開けると、中のディスクにひびが入っていた。ひろとは、持っていた手を、ゆっくりと下ろした。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

ひろとの気持ちは、はじめと おわりで どう 変わりましたか。

- ① 期待 → 安心
- ② 期待 → がっかり
- ③ 不安 → 安心
- ④ 心配 → がっかり

こたえ

- 1 テストが返ってきた。思ったより点が低い。でもわたしは、まちがえた問題に赤で印をつけ、「次はできる」とノートに書いた。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① やる気
- ② 満足
- ③ 安心
- ④ 落ちこみ

こたえ

- 2 妹だけが新しいくつを買ってもらった。わたしのくつは、まだきれいだからと言われた。分かってはいるけれど、妹のくつを、ちらちらと見てしまう。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① いかり
- ② 満足
- ③ うれしさ
- ④ うらやましさ

こたえ

- 3 なわとびの二重とびが、一度もできなかった。れんは、くちびるをかんだ。毎朝れんしゅうして、ある日、続けて三回とべた。れんは息を切らしながら、こぶしをぐっと上げた。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

れんの気持ちは、はじめと おわりで どう 変わりましたか。

- ① くやしい → つかれた
- ② あきらめ → うれしい
- ③ くやしい → うれしい
- ④ 期待 → がっかり

こたえ

- 1 係の当番の日。教室の水やりを、わすれる子が多い。わたしは自分の分が終わっても、かれかけた花が気になって、そっと水をやった。だれも見ていなくても。

★ 気持ちが分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① あせり
- ② いらだち
- ③ めんどうさ
- ④ やさしさ

こたえ

- 2 手を上げれば、当ててもらえる。答えは分かっている。でも、まちがえたら、と思うと、上げかけた手が、とちゅうで止まってしまう。

★ 気持ちが分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① わくわく
- ② 不安
- ③ いらだち
- ④ 安心

こたえ

- 3 熱を出したわたしのために、友だちがプリントを家まで届けてくれた。わざわざ遠回りして。わたしは「ありがとう、ごめんね」と、小さく言った。

★ 気持ちが分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① 感謝 と すまなさ
- ② 心配 と すまなさ
- ③ 心配 と さびしさ
- ④ 感謝 と さびしさ

こたえ

1 こたえ：④ 思いやり

★線をひくところ（赤いことば）

図書室で、みちるは借りたかった本が最後の一さつだと気づいた。手をのばしたそのとき、となりの下級生も同じ本に手をのばした。みちるは少し考えて、「どうぞ」とその本をゆずった。

手がかり： 借りたかった本なのに、

少し考えて（あわててはいない＝あせり・おどろきではない）『どうぞ』とゆずった（いらだててはいない）＝相手を先にする思いやり。

2 こたえ：② 心配 → 安心

★線をひくところ（赤いことば）

遠足の朝、空は黒い雲におおわれていた。ゆうきは「中止かもしれない」と、かばんを何度も見た。ところが出発のころには雲が切れ、青空が広がった。ゆうきは大きく手をふって歩き出した。

手がかり： はじめは黒い雲で『中止かも』と心配（まだ中止ではないので、がっかりではない）→終わりは青空で大きく手をふる＝安心してよろこぶ。

3 こたえ：① 気まずさ

★線をひくところ（赤いことば）

わたしは妹のケーキを、つい先に食べてしまった。妹が「わたしの、ないの？」と言ったとき、わたしは何も言えず、下を向いた。あやまろうとしても、なかなか言葉が出てこなかった。

手がかり： 妹に『わたしの、ないの？』と言われ、

何も言えず下を向く（満足・安心ではない）／あやまろうとしても言葉が出ない（いらだちではない）＝自分が悪いと感じる気まずさ。

1 こたえ：③ ほこらしさ

★線をひくところ（赤いことば）

一週間かけて作った工作が、地区の展覧会に選ばれた。父さんが「よくがんばったな」と言うと、たけしは顔を上げて、ぐっと胸をはった。

手がかり：父さんに『よくがんばったな』とみとめられ、顔を上げて（下を向くてれくささではない）ぐっと胸をはる（不満ではない）＝ほこらしさ。

2 こたえ：② きんちょう → 安心

★線をひくところ（赤いことば）

はじめての委員会。りなは何を話せばいいかわからず、下を向いていた。だが上級生が「となりに座っていいよ」と笑いかけてくれた。りなは肩の力がぬけ、そっと顔を上げた。

手がかり：

初めての委員会で何を話せばいいかわからず下を向く＝きんちょう→上級生にやさしくされ肩の力がぬけ顔を上げる＝安心。

3 こたえ：① せつなさ

★線をひくところ（赤いことば）

転校していく友だちが、さよならの手紙をくれた。文字が、ところどころにじんでいて。それを見て、まおは自分の胸がぎゅっとなり、何度も手紙を読み返した。

手がかり：

にじんだ文字（友だちが泣いたあと）を見て胸がぎゅっとなる（うれしさではない）／何度も読み返す＝友だちの悲しみが伝わるせつなさ。

1 こたえ：③ くやしさ

★線をひくところ（赤いことば）

試合の最後、ぼくのパスがずれて、大切なチャンスをのがした。ロッカーで、ぼくは ユニフォームをにぎったまま、しばらく動けなかった。

手がかり：ぼくのパスがずれて、大切なチャンスをのがした／ユニフォームをにぎったまま動けない（つかれや安心で力がぬけたのではない）＝自分のミスへのくやしさ。

2 こたえ：④ てれくささ

★線をひくところ（赤いことば）

みんなの前で先生が「この作文はすばらしい」と、わたしの名前を読み上げた。
うれしいのに、なぜか顔が赤くなって、下を向いてしまった。

手がかり：『すばらしい』とほめられてうれしいのに、顔が赤くなり下を向く（胸をはるほこらしさではない）＝うれしさにまじる てれくささ。

3 こたえ：② 期待 → がっかり

★線をひくところ（赤いことば）

楽しみにしていた新しいゲーム。箱を開けると、中のディスクにひびが入っていた。
ひろとは、持っていた手を、ゆっくりと下ろした。

手がかり：楽しみにしていた（期待）→ディスクにひびが入り手をゆっくり下ろす＝がっかり。

1 こたえ：① やる気

★線をひくところ（赤いことば）

テストが返ってきた。思ったより点が低い。でもわたしは、まちがえた問題に赤で印をつけ、「次はできる」とノートに書いた。

手がかり：思ったより点が低い（安心・満足ではない）／でも、
まちがえた問題に赤で印をつけ、
『次はできる』と書く（落ちこみではない）＝次に向けたやる気。

2 こたえ：④ うらやましさ

★線をひくところ（赤いことば）

妹だけが新しいくつを買ってもらった。わたしのくつは、まだきれいだからと
言われた。分かってはいるけれど、妹のくつを、ちらちらと見てしまう。

手がかり：分かってはいる（親へのいかりではない）のに、
妹のくつをちらちら見てしまう（満足していない）＝うらやましさ。

3 こたえ：③ くやしい→うれしい

★線をひくところ（赤いことば）

なわとびの二重とびが、一度もできなかった。れんは、くちびるをかんだ。毎朝
れんしゅうして、ある日、続けて三回とべた。れんは息を切らしながら、こぶしをぐっと上げた。

手がかり：一度もできずくちびるをかむ＝くやしい（毎朝れんしゅうしたので、
あきらめではない）→続けて三回とべて、
息を切らしながらも（つかれたわけではない）こぶしをぐっと上げる＝できたうれしさ。

1 こたえ：④ やさしさ

★線をひくところ（赤いことば）

係の当番の日。教室の水やりを、わすれる子が多い。わたしは自分の分が終わっても、かれかけた花が気になって、そっと水をやった。だれも見えていなくても。

手がかり：自分の分が終わっても（めんどうがってはいない）、かれかけた花が気になって、そっと（いらだち・あせりではない）水をやる／だれも見えていなくても＝花を思うやさしさ。

2 こたえ：② 不安

★線をひくところ（赤いことば）

手を上げれば、当ててもらえる。答えは分かっている。でも、まちがえたら、と思うと、上げかけた手が、とちゅうで止まってしまう。

手がかり：答えは分かっているのに、『まちがえたら』と思うと（安心ではない）上げかけた手が止まる（わくわく・いらだちではない）＝失敗への不安。

3 こたえ：① 感謝 と すまなさ

★線をひくところ（赤いことば）

熱を出したわたしのために、友だちがプリントを家まで届けてくれた。わざわざ遠回りして。わたしは「ありがとう、ごめんね」と、小さく言った。

手がかり：わざわざ遠回りして届けてくれた／『ありがとう（感謝）、ごめんね（すまなさ）』＝感謝と、手間をかけたすまなさ。友だちを心配したり、さびしがったりする言葉はない。